

演習ミクロ経済学Ⅰ 第2回

2017年4月19日

問題の解答について

問題の解答は、<http://k-kumashiro.github.io/website> の、「講義」→「ミクロ経済学Ⅰ演習」へ辿ったページにアップします。

定義の確認

定義 1 (連続な選好). \mathbb{R}_+^n 上の選好 \succsim が連続である.

\iff $\mathbf{x}^0 \in \mathbb{R}_+^n$ に対し, 集合 $\{\mathbf{x} \in \mathbb{R}_+^n \mid \mathbf{x} \succsim \mathbf{x}^0\}$ と $\{\mathbf{x} \in \mathbb{R}_+^n \mid \mathbf{x} \precsim \mathbf{x}^0\}$ がどちらも である.

定義 2 (局所非飽和). \mathbb{R}_+^n 上の選好 \succsim が局所非飽和を満たす.

\iff $\mathbf{x}^0 \in \mathbb{R}_+^n$ と $\varepsilon > 0$ に対し, ある $\mathbf{x} \in B_\varepsilon(\mathbf{x}^0)$ が存在し, $\mathbf{x} \succ \mathbf{x}^0$ を満たす.

定義 3 (強単調性). \mathbb{R}_+^n 上の選好 \succsim が強単調性を満たす.

\iff $\mathbf{x}^0, \mathbf{x}^1 \in \mathbb{R}_+^n$ について, $\mathbf{x}^1 > \mathbf{x}^0$ のとき が成り立ち, $\mathbf{x}^1 \gg \mathbf{x}^0$ のとき が成り立つ.

定義 4 (凸性). \mathbb{R}_+^n 上の選好 \succsim が凸性を満たす.

\iff $\mathbf{x}^1 \succsim \mathbf{x}^0$ を満たす $\mathbf{x}^0, \mathbf{x}^1 \in \mathbb{R}_+^n$ と $t \in [0, 1]$ について, $t\mathbf{x}^0 + (1-t)\mathbf{x}^1 \succsim \mathbf{x}^0$ が成り立つ.

定義 5 (強凸性). \mathbb{R}_+^n 上の選好 \succsim が強凸性を満たす.

\iff $\mathbf{x}^1 \succ \mathbf{x}^0$ と $\mathbf{x}^1 \neq \mathbf{x}^0$ を満たす $\mathbf{x}^0, \mathbf{x}^1 \in \mathbb{R}_+^n$ と $t \in (0, 1)$ について, $t\mathbf{x}^0 + (1-t)\mathbf{x}^1 \succ \mathbf{x}^0$ が成り立つ.

定義 6 (凹関数). $f: D \rightarrow \mathbb{R}$ が凹関数である.

\iff 任意の $\mathbf{x}^1, \mathbf{x}^2$ と任意の $t \in [0, 1]$ について,

$$\text{$$

定義 7 (狭義凹関数). $f: D \rightarrow \mathbb{R}$ が狭義凹関数である.

$\iff \mathbf{x}^1 \neq \mathbf{x}^2$ を満たす任意の $\mathbf{x}^1, \mathbf{x}^2$ と任意の $t \in (0, 1)$ について,

定義 8 (準凹関数). $f: D \rightarrow \mathbb{R}$ が準凹関数である.

\iff 任意の $\mathbf{x}^1, \mathbf{x}^2$ と任意の $t \in [0, 1]$ について,

定義 9 (狭義準凹関数). $f: D \rightarrow \mathbb{R}$ が狭義準凹関数である.

$\iff \mathbf{x}^1 \neq \mathbf{x}^2$ を満たす任意の $\mathbf{x}^1, \mathbf{x}^2$ と任意の $t \in (0, 1)$ について,

命題 1 (準凹関数の性質). 関数 $f: \mathbb{R}_+^n \rightarrow \mathbb{R}$ が準凹関数である \iff 任意の $y \in \mathbb{R}$ について, $S(y) \equiv \{\mathbf{x} \in \mathbb{R}_+^n \mid f(\mathbf{x}) \geq y\}$ は凸集合である.

問題

問題 1. 消費集合を \mathbb{R}_+ とする. 次の効用関数を考える.

$$u(x) = \begin{cases} x & \text{if } x \leq 1 \\ x + 1 & \text{if } x > 1 \end{cases}$$

- (a) この効用関数が連続関数かどうか答え, それを示しなさい.
 (b) この効用関数が表す選好関係が連続性を満たすかどうか答え, それを示しなさい.

問題 2. 消費集合を \mathbb{R}_+^2 とする. 次のそれぞれの選好 \succsim が強単調性, 強凸性を満たすかどうか答え, それを示しなさい.

- (1) $\mathbf{x}^1 \succsim \mathbf{x}^2 \iff x_1^1 x_2^1 \geq x_1^2 x_2^2$
 (2) $\mathbf{x}^1 \succsim \mathbf{x}^2 \iff x_1^1 - x_2^1 \geq x_1^2 - x_2^2$
 (3) $\mathbf{x}^1 \succsim \mathbf{x}^2 \iff \min\{x_1^1, x_2^1\} \geq \min\{x_1^2, x_2^2\}$

問題 3. 消費集合を \mathbb{R}_+ とする. 以下の効用関数が表す選好が局所非飽和を満たすかどうか答え, それを示しなさい.

$$u(x) = -(x - 5)^2$$

問題 4. 以下の関数 $f: \mathbb{R}_+^2 \rightarrow \mathbb{R}$ が準凹関数であることを確かめなさい.

$$f(\mathbf{x}) = \min\{x_1, x_2\}$$

問題 5. 命題 1 を証明しなさい.